

STEP

6

フタを開けましょう



- 1 センターバルブの圧力表示ピンが完全に下がっている位置(バルブキャップが下まで落ちた状態)にあるのを確認します。



- 2 スライドボタンを押して、ハンドル付近から蒸気が出ないことを確認します。このとき、シューッと蒸気が出るようでしたら、内部に圧力が残っていて危険です。自然放置(もしくは急冷)で完全に蒸気を出きってください。

⚠ ハンドルは熱くなっている場合がありますので、ミトン等をご使用ください。

⚠ スライドボタンを押したとき、ハンドル付近やボタンの隙間から蒸気が出る場合があります。ご注意ください。



- 3 スライドボタンを押しながら→Open方向(反時計回り)にわずかに動かし一旦止め、フタの隙間から蒸気が出ていないことを確認し、スライドボタンを押しながら回して開けてください。このときハンドルの動きが重く感じられる場合は、内部に圧力が残っている可能性がありますので、無理に開けようとせず、圧力を下げてから開けてください。



- 4 △印の位置までフタを回して少し持ち上げ、手前にスライドさせて隙間を開け、蒸気を逃がします。



- 5 鍋の中から立ち上がる蒸気が手前にこないように注意して開けます。



**火を止めた後も鍋の中には
圧力があります。
決して無理にフタを
開けようとしないでください。**

圧力表示ピンが完全に下がったら力を入れずにフタを開けることができます。フタを開けるときの鍋の中に少しでも圧力が残っていると、フタが飛んだり、高温の内容物が噴出して、手や腕などにかかり、やけどを負う危険があります。フタは手順に従って開けてください。